

5 経営課題別の達成状況評価

様式5

【経営課題2： 厳正・円滑でかつ効率的な選挙の管理執行】

○評価結果の総括

内容	経営課題全体としての評価結果の総括
誤りのない効果的な選挙執行の実現	参議院選挙において、選挙無効のない円滑な執行が出来た。

〔戦略2-1： 投票環境の改善と事務の整備・適正化〕

○戦略と具体的取組の一体的評価

戦略と具体的取組の一体的評価と課題	(※1)	対応方向
業績目標4項目とも概ね目標を達成している。その中でも項目③については、区からの要望もありまた新しい形式のネットワークの導入もあって、当初の予定を上回った成果が得られている。ただし、システムの新しい問題点も発生しているため検証を重ね改善する必要がある。	ア	各区からの意見等を係長検討会等で集約し、検討し改善する。

○戦略の達成目標(アウトカム)の進捗状況

戦 略	戦略の成果・目標達成状況	評価結果(※2)
投票環境の改善と厳正・円滑な管理執行のための事務の整備等を行う。	参議院選挙において、大きな問題なく執行管理ができた。投票管理システムのネットワーク化については、参議院選挙において目標を上回る22区において実施できた。統一地方選挙に向けて、取組を継続し、投票管理システムについては、全区24区でネットワーク化を実施する。	A
<b>達成目標(アウトカム)</b> ・選挙時には、これまでと同様に選挙無効がないようにする。 ・投票所での有権者の利便性を向上させる→平成23年度市長選挙までに投票管理システムのネットワーク化を6区から全区へ拡大する。		

○具体的取組の業績目標(アウトプット)の達成状況

番号	取組内容	業績目標(アウトプット)	取組実績・目標達成状況	評価結果(※3)	課題	改善策
①	より厳正・円滑な選挙執行のためのノウハウの共有【23 1-1-1】	区をまじえた検討会を通じ、衆議院選挙において管理執行上問題のあった事例の解決策を提示するとともに、各区のマニュアルなどノウハウを集約し、各区に情報提供を行う。また、今後の選挙執行体制のあり方、ノウハウの伝承方法についても検討する。	新入者研修及び参議院選挙事務研修の際に衆議院選挙の管理執行上問題のあった事例の解決策を提示した。幹事区の選挙係長で検討会を立ち上げ、参議院選挙の管理執行上問題のあった事例の解決策を検討し、解決策を策定した。同検討会で、新しい課制に対応した選挙執行体制を検討し、事務規程の改定を行った。	②	投票事務に従事する者が、人事異動等により、刷新されるのでノウハウの継承が困難である。	新年度に新幹事係長で検討会を継承し、継続して各種問題点を検討する。
②	選挙事務従事者の確保【23 1-1-2】	参議院選挙で区役所以外の職員に投票事務の応援を依頼し必要人員を確保する	速報関係等については、従来どおり応援依頼を行ったが、投票事務においては、他所属応援の依頼はなかった。統一地方選挙に向けて関係部署と協議し、他所属応援を行える体制を整備した。また、4月1日人事異動で、他所属へ異動した者を呼び戻せる体制も整備した。	②	他所属応援以外に、業者委託、アルバイト対応なども検討が必要。	各区の人員の状況を聴取し、各種選挙に柔軟に対応する。
③	投票管理システムの改善【23 1-1-3】	参議院選挙で16区のネットワーク化を実施し、スムーズに投票を行えるようにする。	参議院選挙において、22区のネットワークを実施した。統一地方選挙に向けて、全区24区のネットワーク化を実施する。	①	停電時等における体制の整備が必要。	対応策をマニュアル化し、指示できる体制を構築する。
④	不適正な会計事務の再発防止とより適切な会計事務を行うための事務改善【23 1-1-4】	21年度の検証結果を踏まえ改善すべき点について関係局と調整したうえで、参議院選挙に向けて各区に対して指導する。さらに経常経費及び選挙経費(参議院選挙)の検証を実施する。	新入者研修、参議院選挙事務研修及び選挙係長会議の際に改善すべき点を指導した。参議院選挙後、6区を訪問し、会計事務等を検証し、改善すべき点を統一地方選挙事務研修の際に指導した。	②	統一地方選挙の複数年にわたる複雑な会計処理を関係部署とも協議し、検討が必要。	複数年にわたる会計処理や、複雑化する選挙に対応する会計処理を研究検討する。

(※1)

- ◆戦略と具体的取組を一体的評価したうえでの今後の対応方向
  - ア:業績目標を達成し、見込んだ成果も得られており、今後より一層効果的・効率的に取組を実施していくことが必要
  - イ:業績目標が未達成の取組があり、見込んだ成果も得られていないため、取組の改善・見直しが必要
  - ウ:業績目標を達成しているのに、成果が得られていないため、実効性のある取組への見直し・再構築が必要
  - エ:業績目標が未達成であるのに成果が得られており、達成目標のあり方や取組の有効性・必要性の検討が必要
  - オ:環境変化等により、戦略・取組の抜本的な見直しが必要

(※2)

- ◆戦略の達成目標(アウトカム)の進捗状況
  - A:期待を上回る成果が得られている
  - B:概ね期待どおりの成果が得られている
  - C:期待する成果は得られていない
  - D:環境変化等の影響を受け、戦略を遂行する必要性が薄れている

(※3)

- ◆具体的取組の業績目標(アウトプット)の達成状況
  - ①:目標を大きく上回る達成
  - ②:目標を概ね達成
  - ③:目標が達成できなかった
    - (i) 取組は予定どおり実施したが、結果として目標を達成できなかった
    - (ii) 課題が生じ予定した取組を実施できなかった、または進捗が遅れている
    - (iii) 環境変化等の影響を受け、取組の優先度が下がり、取組を遂行する必要性が薄れた